



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2010年11月号

「主題」

- 国際会長 : 「心新たに立ち上がろう」
 アジア地域会長 : 「心新たに立ち上がろう」
 西日本区理事 : 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
 中部部長 : 「ワイズはフェイス to フェイス！」(コミュニケーションは顔を見て声をかけて)
 プラザクラブ会長 : 「とにかく楽しくやってみよう」

【Public Relations Wellness ワイズデーは各部それぞれのイベントでPRされるがYMCA デーとならないように、積極的に「ワイズ」をアピールしてください。】

11月例会および今後の予定案内

【11月第1例会(反省会)】

日時: 11月4日(木)・18:45-
 場所: 勝美屋 (東区代官町33-8 TEL. 052(936)5081)
 会費: 通常会費

【11月第2例会】

日時: 11月18日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 12月例会打合せ
 出席義務者: 役員(島崎・櫛田・後藤)
 12月担当者(島崎・松永)
 1月担当者(鈴木・大島)

【今後の予定】

1. チャリティーラン

日時: 11月6日(土)・現地集合: 8:30
 場所: 名城公園(フラワー館横グラウンド)
 *雨天の場合は翌日に順延・当日、決行 or 中止の判断が付かない場合は、6時に名古屋YMCAへお電話(TEL. 052(932)3366)またはホームページ(<http://www.nagoyymca.com>)をご覧ください。

2. パレットキッズと釣り会

日時: 11月13日(土)・現地集合9:30
 場所: 稲永公園(稲永ビクターセンター前)
 名古屋市港区野跡4-11-2 TEL. 052(389)5822
 *雨天決行、ただし警報が出るほど悪天候の場合は、8時半までに櫛田宛お電話(090-4866-3658)ください。

3. 12月第1例会(予定)

日時: 12月2日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 *詳細は3面第2例会報告の3項参照のこと。

4. 12月第2例会

日時: 12月16日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室

10月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
	大島 孝三郎	○		○	○	○
	大平 純市	○				
	小澤 幸男	○				○
書記	櫛田 守隆	○	○	○		
会計	後藤 猛	○	○	○		
会長	島崎 正剛	○	○	○	○	
直前会長	鈴木 誉三	○	○	○		○
	高田 廣	○			○	
	松永 裕子					
連絡主事	万福寺 昭美					
課外活動	①中部部会 ②EMCシンポジウム ③わいわいフェスタ					
出席率・%						
1. ニコボックス		17150			17150	
2. オークション						
ファンド・当月合計/累計		17150			17150	
12月号ブリテンの寄稿者は後藤さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp						
1月号・万福寺/2月号・松永/3月号・小澤 4月号・鈴木/5月号・島崎/6月号・大平 *10月号の掲載順序は誤りでしたので訂正いたします。						

10月第1例会報告

日時：10月7日（木）・18:45-21:00

場所：名古屋YMCA会議室

1. 入会式

高田さんの紹介で3月第1例会にご出席以来、7月の1泊懇親会を含め5回も来ていただきました。ワイズのこと、プラザクラブのこと、メンバーひとり一人のことなどは、ある程度理解されたことと思います。今後ともメンバーとともに肩肘張らず、クラブライフを一緒に楽しみましょう。



(久しぶりの入会式です 太平さん今後ともよろしく)

2. 卓話：「ワイズは国際奉仕クラブ」・奈良昭彦氏

1905年ロータリーがシカゴで設立されて以来、国際奉仕クラブのメンバー数は右肩上がりに増えてきましたが、1995年から現在までは120万人を前後している。ロータリーに限らずキワニス、ライオンズなどのメンバー数の増減は同じようなもので、2009年総勢132万人を誇るライオンズクラブのメンバーの増加数はわずか1.3万人である。



(奈良さん 講演ありがとうございました)

ワイズを含めた国際奉仕クラブに、何が起きているのか？世界的な規模での経済の退潮が起きていることが理由の1つ、またコミュニティサービス

が奉仕活動の理念であったが、そのコミュニティ自体が崩壊してしまっている。すべてのクラブがアメリカ生まれですが、良きにつけ悪きにつけアメリカ文化が世界をリードしてきた。そのアメリカ文化が行き詰まり、大量生産、大量消費経済、さらに環境問題が厳しくなるにつれてそのことがいいのかという疑問が生じ、もともとアメリカ文化の精神といえるプロテスタント的「善い人たち」、善意の固まりのようだった人たちは、善意だけでは世の中良くならない、変わらない、世の中がもっと複雑になって来たことを気付き始めた。サービスクラブのサービスの対象が揺らいでしまったわけです。

YMCAもワイズも国連経済社会理事会(ECOSOC)に資格を与えられたNGOです。

ワイズはどこに向かっていくのか？ なによりも大事なことは、「現場を持つことの大切さ」です。JICAのスタッフとして現場を見て始めて分かりました。ワイズも献金したら誰かが何かをしてくれるだろう、ではなく自分たちの目の届くところで、どんな現場で、何をしているのか、ひとり一人が確認できるような、だから献金するんだ、遠くへ行けないところでも、このことのために献金します、との自覚が持てるような、そんなことを最重点にやっていただきたい。今後ともお願いいたします。

3. 連絡事項

(1) 十勝のジャガイモ頒布・島崎

ジャガイモ不作のため注文数10箱のうち1箱をカットする。

(2) EMCシンポジウム開催・高田

10月23日午後1時よりYMCA 3F会議室にて開催、大島・島崎・高田 出席の予定。

(3) チャリティーラン・高田

プラザの役割はコース外周の「のぼり」、「距離表示板」設置および撤去作業・ランナーの誘導など。

(4) YMCAから連絡・坂本

a. 10月23日(土)午後5時半より3F会議室にて会費1000円で、リーダーたちが中心の「わいわいフェスタ」を開催する。参加願います。

b. チャリランのラッフル券は会場で沢山売ってください。

(5) 老人ホームへの音楽慰問・小澤

12月を予定、詳しい日時は後日連絡する。

10月第2例会報告

日時：10月21日（木）・18:30-19:30

場所：名古屋YMCA会議室

1. 11月第1例会・櫛田(略)

2. チャリティーラン・島崎

第1例会と内容重複(略)

3. 部長公式訪問・島崎

名古屋地区未訪問クラブ、南山・グランパス・プラザ、12-1月に合同例会開催を2クラブに提案する、従って12月の第1例会開催日は保留する。

4. EMCシンポジウム、わいわいフェスタ・島崎

参加予定者確認

5. 松永さんの処遇・島崎

松永さんは海外に新規事業を立ち上げて忙しく、今年2月以降欠席が続き、会費も7月から未納状態です。会員数を半年報へ登録するため、今年中に結論を出したい。なお、今日現在彼女との連絡は取れていない。



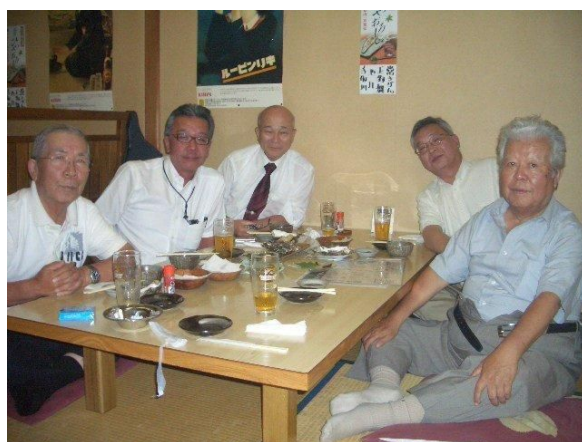
(懇親会 クラブの面々は大いに飲んで食べて話す)

中部部会とミニ金沢観光

大島さんを迎えに行き、伏見で鈴木さんと6時に待ち合わせ、7時後藤・島崎さんたちと長良川SAで合流、10時過ぎに部会会場の金沢ニューグランドホテルに到着した。

中部評議会

11時、金沢ニューグランドホテル「レストラン犀江」で始まった中部評議会は、渋谷部長の開会宣



(二次会、安くて美味くて美人揃い?の片町「ふたつ」にて)



(中部評議会 大島直前部長、前年度事業報告をする)



(根の上祭り、わいわいと喋って歌って楽しいひと時)



(中部部会 渋谷部長「フェイス to フェイス」を熱く語る)



(四日市釣り大会、言うのが恥ずかしいほどの釣果でした)

言・点鐘、ワイズソングと続く。議事は第1号議案「前年度事業報告」(大島直前部長)から第8号議案「第14回中部部会席上献金について」まで満場一致をもって原案通り承認可決された。ただし、平口広報主査が提出された第6号議案「中部広報・ホームページ連絡会」は既に発足しておりますが、評議会で正式に承認いただきたい、との提案があり事後承認とする。また中原広報事業主任から、「広報主査は西日本区各クラブのホームページを閲覧して評価する」との宿題がありましたので、一通り拝見したところ古いままのクラブがありました、とのことでした。各クラブのHP管理者は適宜更新をお願いします。なお、評議員のクラブ員数および資格が曖昧との指摘がありましたので、次回評議会にて討議することとする。

中部部会

第1部 部会

渋谷部長の開会挨拶は、「部長主題を『フェイス to フェイス』といたしました、と語り始める。敢えてアナログを見直してみたいと思います。何事も顔を合わせ、声を掛ける、これが活動の原点であります。ワイズ活動につきましては、特にEMCと広報に注力したい。10年前の中部会員は200人ほどでしたが、現在は130人です。長谷川部長が就任される来年は、200人になるように活発に活動されることを是非お願いいたします。そのことを期待しつつアナログの挨拶を終わります。」と締めた。

第2部 講演:「元気ですか中部!」

講師:大野嘉宏氏(京都パレスクラブ)

会員数を伸ばしているクラブは、親睦を第一にするクラブです。奉仕を考えるな、という意味ではありません。例会がワクワクドキドキするほど楽しければ人は自然に集まり、奉仕はあとから付いてきます。しかし、親睦を維持するには大変難しいことです。お互い謙虚に、優しい気持ちで例会に出席しましょう。人間関係が原因で去って行った会員が沢山いることを肝に銘じることです。京都地区のワイズを隆盛に導いた言葉には説得力がある。

第3部 懇親パーティ

130人の肩が触れ合うほどの盛況ぶりは、さすが創立60余年の老舗である。「はまちどり会」の二胡演奏がオープニング、アトラクションは素人離れた「カルテットE」は草津クラブの方々、テーブルに並ぶ料理はどれも美味しく、久しぶりに会う他クラブの人たちと話が弾む。12階の「ロア」から見る金沢の景色も良い酒の肴である。予定を30分オーバーして終了する。

二次会

一旦宿に帰って2次会に繰り出す。島崎さんの案内で居酒屋「ふたつ」に入り、このあたりでとれた珍しいもの、ということで金沢港に揚がる? ガスエビなどを注文する。色はさえないが甘えびより甘く美味である。途中からグランパスの三井さん、東海の長谷川さんと合流、交流などのワイズ活動について色々アドバイスを受ける。ほど良いところでお開きにした。

翌日、金沢市散策

朝7時に食事、8時半からホテル備え付けの金沢市街地図を片手に、四高(現・金沢大学)記念館に入り、金沢城のお堀端を歩き、泉鏡花記念館を通り過ぎ、ひがし茶屋街を抜ける。出掛けるとき薄暗かった空から、時々ポチポチと小雨が降るたびに軒先に雨宿りするのも一興である。近江町市場のアーケードを冷やかしながら通り抜け、香林坊の109を横に見て11時ごろホテルに戻る。

これからは島崎さんがネットで調べた本命の「金沢港いきいき魚市場市」にクルマを走らせる。あるある、甘エビ、ズワイガニ、ノドグロやカレイの一夜干し、昨日食べた「ガスエビ」を買いたかったが見当たらない。あとで聞いたらあったそうで、残念!! みんな沢山お土産を仕込んだ後、近くの「宝生寿し」に向かう。回らない寿司を久しぶりに食べ、ほんのりと醤油味が舌に伝わるデザートのアイスcreamを堪能する。1時に金沢を出発、北陸道を米原経由で名古屋へ帰る。所要時間は行き東海北陸道ルートと同じ、正味3時間ほどでした。

秋の根の上まつり

10月11日(月・祝) 秋の根の上まつりが行われ、参加者は「根の上を愛する会」の方々を中心にYMCAの元リーダー・職員・ワイズメン・子供達等合わせ総勢60名多くの参加者を集め雲ひとつない秋晴れの下行われました。

10時30分よりメインロッジで開会礼拝が始まり、加藤総主事より「今日はYMCA記念日」のお話を聞いた後、全員で屋外の広場に机や椅子を持ち出し緑に恵まれた自然の中に会場を移し、オープニングセレモニー・参加者紹介の後、楽しみしていた昼食タイムとなり鉄板で美味しく焼かれた肉や焼きそば等を食べながら、自然に恵まれた秋晴れの下ワイズ仲間と共にワイワイ騒ぎ、また全員でギターと共に昔を思い出しながらキャンプソングを歌い楽しい一日を過ごしました。

来年春も開催されるとの事、自然を楽しむ屋外のYMCAの集まりにも参加してみると違ったワイズの

楽しみも出てくるはずです。
(鈴木 誉三)

韓国のワイズメンの名刺

横浜国際大会の晩餐会のテーブルで隣り合わせになった韓国のメンの名刺が漢字表記と英語表記の両面で作られていたのでじっくりと見比べてみました。

個人情報の保護の点から、適否は分かりませんが、氏名、住所、電話、電送、移通、E-mail は省略します。ワイズの肩書では、国際聯青社(安山常緑樹 Club)、曾径京畿地方長、韓国中部地区奉仕部長(国際兄弟 Club)、他には、整形外科専門医 医学博士、新又新病院整形外科科長と表示されていました。英語表記の面では、Y's Men International Korea Center Region RSD(IBC)、Y's Men International Kyunggi District Ansan Evergreen YMC(1997. 03. 08) RSD(IBC)/PDG と書かれております。電送とあるのは英語表記面では Fax、移通とあるのは HP となっておりますが、数字だけの 12 桁の並びから推測するとハンディフオン、即ち M(モバイル)のアドレスのようです。他の人では、M(モバイル)の表示でした。

これらに対応させますと、国際聯青社はワイズメンズクラブ国際協会であり、曾径とは、かつて経験した、即ち元であり、地方長とは、日本での部長であり、地区奉仕部長(国際兄弟 Club)とは、日本での区の事業主任(IBC)のようです。

ワイズ以外のことですが、国際扶輪(東安山 Club, 1996. 05. 18) 曾径会長とあるのは、ロータリークラブ会長も経験されたのでしょうか。1996. 05. 18 の意味はクラブの設立の日か、本人の入会の日か、又は他の意味かは分かりません。

ここで取り上げた名刺はハングルが全然表記されていないものでした。現在の韓国の人の名刺には漢字が使われていても、本人でも、読むには読めても、漢字を正確には書けないことが普通であると聞きました。

プラザクラブの IBC 交流の復活のためにも韓国のワイズメンの名刺に慣れておきましょう。
(大島 孝三郎)

恒例の四日市の釣り会

何回目の釣り会参加になるのか。多分皆勤賞は確実。釣りならばフナ以外はほとんどフロ???

釣行の一週間前から釣りの準備が始まります。まず対象魚。鱸(ハセ)・セイゴ・成魚の鱸(スギ)・情

報では鱸(キヌ)が釣れているとの事。外道に鰻(ウギ)・鯛(ウチ)・ハリス・錘(ウチ)。潮はどうか。満潮・干潮はいつ。竿はどれ。リールは何。随分とルアーであたっているの持参すべきか。一週間があれやこれやの想像の世界(妄想?)に魚は次第に大型化。クーラーには入るかしらと本気で思案。毎度のことではありますが、想像の産物にてんてこまい。子供の頃の遠足前夜。

このまま書いておきますと原稿の 10 枚は必要。櫛田編集長から紙面はこれだけときついおたっし。天候にめぐまれ、条件は小潮を除いてまずまず。常に第一投目はいつも最高潮。全神経系を竿を持つ手に集中し、竿からテグス ハリス 針から餌へと神経を研ぎ澄ます。釣るそのオーラがでまくり状態。そして静かに静かにリールを誘うように巻く。そして巻く。そして巻く。そして幕。

ヘトヘトです。釣果は今までの釣行の中で最低。櫛の 15cm が 2 匹。反省の奈落へとまっさかさま。クーラーとありったけの想像の産物に対応すべく用意した釣具の重いこと。そして冷静に現実の世界へと引き戻されるのです。だかしかしそんなことでは想像の世界は萎れません。来年の釣り会へと気持ちは羽ばたきます。がんばるぞと心でシュプレヒコール。

(島崎 正剛)

デジタルって疲れます

この頃、自動車保険の見積もりをした保険会社や本を買った通販会社から広告・宣伝類のメールがやたら来る。しつこいのはプロバイダーの Y である。2 年ほど前、「直ちに停止せよ」のメールを送った直後はよかったが、暫くすると徐々に増えて元の本阿弥である。今回、来た広告メールに「送信不要」の「返信」を打ってみた。「貴社からの下記広告・宣伝類のメールは、今後一切お断りします。数年前、同じお願いをしましたが、停止するための手続きが面倒なので断念したことがあります。今回は直ちに停止してください」3 分後にメールが来た。

「このメールは http: × × × から自動的に返信されています」とあり、続けて「お手数をおかけしますが、スタークラブのお問い合わせは、以下の「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。◇ http: × × ×」とある。× × × をクリックした。

利用停止手続きをすると、セキュリティパックの機能が利用できなくなります、と注意を促し、『利用停止する場合の注意』と『サービスの利用開始手

続き』にアンダーラインが引いてある。メール停止の意思があればクリックして確認せよ、ということか。双方をクリックした。

利用停止すると色々な機能・特典が利用できなくなるので、停止手続きする前にそれでも良いのか、もう一度考え、覚悟したら『ウイルスチェックサービスの利用開始手続き』を押せという。クリックすると、利用料金は月額 290 円(税込)ですが、会員になれば月額 210 円におまけします。詳しくは『セキュリティーパックの機能を利用したい場合の注意』をご覧ください、とある。どうやら、メールを停止した場合のセキュリティーは責任を負いませ。もし停止して不安な場合は、別料金でセキュリティー機能が利用できます、ということらしい。さらに「フッターテキスト」、「POP アクセス」、「ウオレットの登録」などの知らない用語が次々に出てくる。あちこちクリックしているうちに段々やる気が失せてきた。

10 月 11 日付日経新聞の「経済教室」の記事は、米バラクーダネットワークス社(注:1)のジャッジ博士は、「03 年のダイレクトメール 1 通あたりの費用は約 1.21 ドルであるのに対して、スパムメール(注:2)では 1 通あたり約 0.0005 ドルである」と推計している。当時の円相場を 120 円/ドルとすれば、メール 1 通たった 6 銭である。広告メールは止めますがセキュリティー機能は広告メールと一体のサービスですので、セキュリティー機能が必要でしたら月額 210 円か 280 円をお支払いください、ということらしい。

「あなたのためにサービスつきのメールを送っています。ご不満でしたら停止なさっても結構です、それでも私の利益になりますから」ということを世間では、「御為倒し(おためごかし)」と言う。

(注:1)・スパムメール対策アプライアンス(特定の機能に特化したコンピュータのこと)の開発からスタート、その活動領域を企業ネットワークセキュリティ全体まで広げる。コカ・コーラ、FedEx などの一流企業で採用されている。

(注:2)・「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」は、スパムメール(迷惑メール)を「受信者の同意を得ず一方的に送信される広告・宣伝目的の電子メール」と定義している

聖書の言葉

【そのころ、バラバという名の知れた囚人が捕らえられていた。それで、彼らが集まったとき、ピラトは言った。「あなたがたは、だれを釈放してほしいのか。バラバか、それともキリストと呼ばれているイエスか。」(マタイの福音書 27. 16-17)】

【先月号の月報に、イエスの代わりにバラバの釈放を主張したユダヤ人たちの激しい言葉を、マタイの福音書から引用して書いた。そのなかでマタイのバラバは「名の知れた囚人」であり、詳しい罪状が記されていないため、ヨハネの同じ場面の記述(注:1)を拡大解釈して「強盗殺人犯」とした。しかし、マルコ(15. 7)とルカ(23. 19)は「暴動と人殺し」と具体的に記述している。「暴動」、「バラバ」が気になった。

【紀元前 40 年、ヘロデ王はローマの元老院からユダヤの王と公認され、強権政治を進め表面的に統治は安定していたが紀元前 4 年に死去、息子のアルケラオスが引き継ぐも失政を重ねたため、紀元 6 年に解任されてガリアに追放される。同年ユダヤ・サマリア・イドゥミアを併せた地域がユダヤ属州(皇帝属州・注:2)となる。ヘロデ王の息子 3 人は、王を名乗ることは許されなかったが、分封領主としてユダヤ周辺地域を治めることを許された。イエスが逮捕された紀元 30 年ごろ、祭司、長老、律法学者たちはローマ側に協力的な態度で権威を維持していた。その反面、税を納めることは異教徒ローマの支配を認めることであると、皇帝への納税を拒否するゼーロータイ(熱心党)運動が、解放独立の武力闘争に発展、幾度も暴動を起しその都度圧倒的なローマ軍団に鎮圧されていた。暴徒バラバはゼーロータイの指導的立場の者で、民衆からは「バラバ・イエス」(注:3)と呼ばれていた。バラバとはアラム語で「父の子」を意味するらしい。なお、イエスと言うのは当時のユダヤ人の間ではごく普通の名であった。以後、聖書にバラバは 1 度も登場していないが、1951 年ノーベル文学賞を受賞したスウェーデンの作家ラーゲルクヴィストの小説「バラバ」は、ローマの町を放火した咎で磔になるとき「お前さんに委せるよ。俺の魂を。」と最後に言わせている。『イエスの死後反ローマ運動は続けられた。66 年の第 1 次ユダヤ戦争、130 年の第 2 次ユダヤ戦争でエルサレムが陥落し神殿は破壊され「嘆きの壁」が残った。以来ユダヤ民族は「流浪の民」として 20 世紀まで苦難の歴史を辿ることになる』

(注:1)・すると彼らはみな、また大声をあげて、「この人ではない。バラバだ。」と言った。このバラバは強盗であった。(ヨハネの福音書・18. 40)

(注:2)・「皇帝属州」とは、軍団を常駐させて治安維持に当る必要がある州、反対に統治が行き届き軍団を常駐させる必要のない州は「元老院属州」という。

(注:3)・そのころ、バラバという評判の囚人がいた。それで、ピラトは。人々が集まって来たときに言った。「どちらを釈放してほしいのか。バラバ・イエスか。それともメシアといわれるイエスか。(新共同訳聖書・マタイの福音書 27. 16-17)